

全世界の勤労者団結せよ！

金 正 日

帝国主義者の「改革」「開放」 策動は容認できない侵略・ 瓦解策動である

朝鮮労働党中央委員会の責任幹部への談話

1998年5月7日

朝鮮民主主義人民共和国

外国文出版社

2026

全世界の勤労者団結せよ！

金正日

帝国主義者の「改革」「開放」 策動は容認できない侵略・ 瓦解策動である

朝鮮労働党中央委員会の責任幹部への談話

1998年5月7日

朝鮮民主主義人民共和国

外国文出版社

2026

今、帝国主義者と反動勢力はわれわれを「改革」「開放」へ誘導しようと各方面から圧力をかけ、誘惑していますが、それに対し正しい認識を持って警戒心を高めなければなりません。

帝国主義者と反動勢力は、社会主義の堡壘であるわが共和国を圧殺しようと軍事戦略を追求するだけでなく、それと併行して「平和的移行戦略」によって侵略的野望を遂げようとあらゆる策動をめぐらしています。帝国主義者と反動勢力が「改革」「開放」について喧伝しながらわれわれの体制を中傷し、われわれに圧力をかけているのがほかならぬそうした策動です。

帝国主義者と反動勢力はわれわれが「改革」「開放」をせず「孤立」と「閉鎖」の道を歩んでいると誹謗していますが、これは現実を歪曲し逆さまに見る者たちならではの途方もない言い分です。

偉大な領袖キムイルソン金日成同志は世界的に「改革」「開放」の風が吹き荒れていた時期にすでに、元来改革、開放というのは間違っていることを改め、閉ざしていた門戸を開くという意味であるが、われわれはすでに改めるべきことは全て改め、扉を開いているのだから、わが国には「改革」すべきことも「開放」すべきこともないと明言しています。われわれは新しい祖国、新しい社会を建設しながら、どの一つの部門も改革しなかったものはなく、国の門戸を開ざしたこともありません。

改革とは、古いものを新しいものへと改め、革新していく過程

であり、最も徹底した改革はほかならぬ社会的変革、社会革命です。われわれが行った民主主義革命と社会主義革命は、人民大衆を帝国主義の植民地統治と封建的従属、資本の搾取から解放し、国家と社会の主人たらしめた抜本的な社会的変革でした。わが党が社会主義建設の総路線として堅持している思想、技術、文化の3大革命も、旧社会の遺物を一掃し、人間と自然と社会を全面的に改造する最も包括的な変革過程です。3大革命が改革より一層深刻な変革であることは論をまたないことです。

開放について言えば、われわれはいつも門戸を開け放しています。わが共和国は自主、平和、親善を対外政策の基本理念とし、対外関係を拡大・発展させています。われわれはわが国の自主権を尊重し、わが国に友好的に接する国とは思想と制度の違いにかかわらずに友好・協力関係を発展させています。現実的にわが国は、社会制度の異なる世界の数多くの国と国家関係を結び、多面的な交流を進めています。わが国には多くの国から各分野の代表団と芸術団も来るし、各階層の人たちが絶えず来訪しており、飛行機や船舶も自由に往来しています。これが開放でなくて何でありましょうか。われわれに「閉鎖」などと言って「開放」せよというのはわれわれの政策にも現実にも全然合わないたわごとです。

帝国主義者と反動勢力はわが国に対し「改革」「開放」をしないだの、「孤立主義」だの、「閉鎖社会」だのと誹謗していますが、実際には彼らがわれわれの社会の変革過程、われわれの前進運動を妨げ、わが国を封鎖して孤立・圧殺しようとしているので

す。わが国を敵対視し、非友好的な態度を取り、政治的、軍事的に圧力をかけて威嚇し、われわれの体制を誹謗中傷しているのも、わが国を経済的に封鎖して他の国との協力と交流を妨げているのも、ほかならぬ米国とその追従諸国です。帝国主義者は彼らの支配と略奪の目的にそぐわない他の国の政治体制や経済制度は「世界の一体化」の潮流に適さないから「改革」すべきだとし、彼らの望む体制と政治方式、腐り切ったブルジョア文化と生活様式を取り入れない国に対しては「孤立主義」だの「閉鎖」だのと言って「開放」すべきだと圧力をかけています。それこそ強盗さながらの論理です。帝国主義者はわれわれになんらかの「改革」「開放」を要求するのではなく、わが国に対する彼らの孤立・圧殺策動と封鎖を撤廃すべきです。

帝国主義者とその追従者がわれわれに「改革」「開放」すべきだとわめき立てるのは、わが国の社会主義制度を崩壊させ、資本主義制度を復活させようとすることに真のねらいがあるのです。敵は「改革」「開放」によってわれわれの社会主義を内部から瓦解させ、彼らの好み通り資本主義に変えようという陰險な目的を追求しているのです。

帝国主義者と反動勢力は、わが国が直面している経済的難関についても、「改革」「開放」をしなくては難関を打開できないとかなり立てていますが、これもやはり彼らの野望を隠蔽するための詭弁にすぎません。われわれの経済的難関は、わが国に対する帝国主義者の経済封鎖と孤立・圧殺策動によって生じたのです。

そのうえ社会主義世界市場が崩壊し、以前の社会主義諸国との経済協力関係が途絶え、数年にわたる天災まで重なったため、われわれの経済状態と人民の生活が困難になったのです。だというのに、われわれが帝国主義者の説教する「改革」「開放」を受け入れるなら、経済的難関から抜け出すことはおろか、国の自主権と尊厳を踏みにじられ、われわれの社会主義を壊滅させることになり、人民は植民地奴隷の境遇に陥るようになるでしょう。これは「改編」や「多元主義」を受け入れたために社会主義が崩壊し資本主義が復活した国々の現実が如実に示しています。帝国主義者と反動勢力が執拗に喧伝する「改革」「開放」という「処方箋」は、われわれを経済的難関から抜け出させるためでもなく、わが国の経済を活性化するためでもなく、彼らの侵略的で支配主義的な野望を実現するためのものです。

帝国主義者は「改革」「開放」をなんらかの付帯条件として政治的圧力の手段とし、経済的制裁と封鎖の口実としています。帝国主義者はさらに人道主義的問題にまで「改革」「開放」を引き入れ、人道主義を政治的取引の道具にしています。彼らは、われわれが国際社会から人道主義的援助を受けようとするなら「経済構造を改革」すべきだの、「共産主義体制」を克服すべきだのと、われわれの体制転換について公然と吹聴しています。これは人道主義に対する愚弄です。人道主義は政治の玩弄物になってはならず、不純な政治的目的に絶対利用されてはなりません。

われわれに「改革」「開放」を強要する帝国主義者と反動勢力

の策動はわが国の自主権に対する凶暴な侵害であり、破廉恥な内政干渉であり、国家間の関係に関する国際法に対する公然たる蹂躪です。われわれの社会主義は人民が自ら選択したものであり、何者もわれわれの制度、われわれの政治に干渉する権利はありません。われわれは全ての国、全ての民族が自らの運命を自主的に切り開いていくことを主張し、他国の自主権を蹂躪することにも反対し、われわれの自主権を侵害することも許しません。われわれは常に他の国の社会制度を尊重し、米国や西側のどの資本主義国に対しても資本主義制度を社会主義制度に替えるよう要求したこともなければ要求もしません。思想と理念、社会制度が相異なる国であっても、自主性を互いに尊重する原則に基づいて平和的に共存すべきだというのがわが党と共和国政府の一貫した立場です。

帝国主義者は「改革」「開放」について喧伝していますが、自分たちの体制は替えようとせず他国の体制を自分たちの要求通り替えるよう訓示し押し付けています。国際社会においてこのような専横は容認されるものではなく、断固として阻止・粉碎しなければなりません。

帝国主義者とその手先どもが「改革」「開放」の方法でわれわれの社会主義を変質・崩壊させ、わが国でも資本主義を復活させようとするのは途方もない妄想です。帝国主義者の「改革」「開放」策動は社会的進歩を阻み、歴史の潮流を逆転させようとする反動的な策動であり、「グローバル化」の名の下に彼らの支配主義的企図を押しつけようとする陰険で横暴な侵略手法です。

革命の嵐に耐えて磐石の如く打ち固められたわれわれの社会主義体制、帝国主義者とあらゆる反動勢力の反社会主義攻勢を粉碎して微動だにせずびえ立っている不敗の社会主義の堡壘を崩壊させようとするのは愚かな企てです。帝国主義者と反動勢力のいかなる軍事的脅迫も、経済封鎖と圧力も、われわれには絶対に通用しません。

帝国主義者は歴史の教訓を忘れてはなりません。米国は半世紀もの間われわれの社会主義を抹殺しようと戦争と封鎖、威嚇と圧力、破壊・謀略策動に至るまであらゆる手段と方法を用いましたが、それは全て失敗に帰しました。わが国に対する帝国主義者の軍事的侵略と孤立・圧殺策動はこれまでと同様、今日も明日も彼らに恥辱の敗北を味わわせるでしょう。

「改革」「開放」に対するわれわれの立場は断固として明白なものです。われわれは敵の「改革」「開放」策動を徹底的に排撃・粉碎しなければなりません。誰が何と言おうと、どんな風が吹き込もうと、わが党と人民は決して「改革」「開放」の道を踏み出しはしないでしょう。

チュチュエの社会主義を守り、朝鮮式に生きていくのは、一寸の譲歩も肯んじないわれわれの原則です。われわれは、偉大な領袖金日成同志の提示した社会主義建設の総路線を堅持して思想、技術、文化の3大革命を強力に推し進め、革命と建設の全ての分野でチュチュエの原則、社会主義の原則を確固と堅持し、全てを朝鮮式に行っていくでしょう。

経済問題もチュチェの原則、社会主義の原則で朝鮮式に解決していかなければなりません。われわれの政治的・思想的威力を発揮し、われわれの制度の優越性、われわれ自体の経済的土台に依拠して全ての問題を解決していくこと、まさにこれが朝鮮式でありチュチェ式なのです。

現在、朝鮮革命は厳しい試練に直面していますが、われわれの力は不敗であり、われわれの前途は洋々と開けています。革命の首脳部がしっかりしており、軍隊と人民が党の周りに一心団結している以上、朝鮮革命はいかなる難関と試練にも打ち勝って成功裏に前進するでしょう。幹部は信念と楽観に満ちて朝鮮式で革命と建設を力強く推し進めていかなければなりません。

金正日

帝国主義者の「改革」「開放」
策動は容認できない侵略・
瓦解策動である

発 行： 朝鮮民主主義人民共和国
外国文出版社

発行日： 2026年8月

No. 2681373



